

氷柱発見と思ったら、もう春！

学 園 長 小 島 澄 人

仲良しの池の水車の周りに「氷柱発見！」、ちょっとした大騒ぎでした。一方、梅は咲き誇り、土カエルは1ヶ月余り早く山下りして、池の周りに出没、池のあちこちに孵卵した光景は、水の中の「つらら」（あえてひらがな）みたいです。どちらも大騒ぎ。子どもたちは、どんな発見にも大騒ぎ。そんな感性、いつまでも持ち続けて欲しいなあ。

もう春！本当に1年は早い。新型コロナウイルス、その対応により子どもたちとの関わりが日数的にも、また、ハグや「ムギユウ」、あと僅かになってしまいました。私も40年近く自分の努めとしてきた「挨拶と握手」、子どもたちとの大事な触れあいとの思いから続けたい、いやこの時期「我慢」、その葛藤の毎日です。握手はなしで挨拶だけ、そう思っても子どもたちが手を出してくる。交通整理だと思ってちょっと離れていると、大勢でそこまでやって来る。職員室から外にでも出ようものなら、周りに子どもたち、ハグ・ムギユツ・握手・ハイタッチ、次から次、本当に嬉しい。けど、ますます葛藤の毎日です。皆さんの新型コロナウイルスへの思いは、これ以上。歯がゆい毎日ですね。幼稚園みんな、保育園みんな、小学校みんな、職場みんな、本当に悩み、歯がゆい毎日。みんな必死です。誰かを、機関を、首相を、首長を、責めても批判しても・・・その光景を見てもただただ空しい。みんな必死です。家族も、職場も、行政も、国も必死です。もう春！ウイルスとの闘いが終焉、その時が「春が来た！」と、待ちわびた春が迎えられるかも知れない。

年長組はついに卒園していく時が来ました。ただ願うのは、「どんな小さなことでもすごく喜び、周りの喜びも喜べる・分かち合える、痛みも感じられる」、その思いで一杯です。元気が一番。あったかさが一番。「ありがとう」を持ち続けて欲しい。願うばかりです。



自分ひとりぐらいと思ってゴミを捨てる。
地上に一億あまりのゴミが落ちる。
自分だけでもと思ってゴミを拾う。
地上から一億あまりのゴミが消える。

見えないものが見え
聞えないものが聞こえ
感じられないものが感じられる



もうすぐ春が来ます。確実に春が来ます。新しい出会いがあります。新しい友が来ます。新しい先生に出会います。

本当に一年間、ありがとうございました。